

No. 17 大多喜小学校プールについて（令和３年３月受付）

内容	大金を投じて設置したプールを、そして大金を使い取り壊し学童保育施設を建設する。反対である。 プールは先の東京五輪で日本のお家芸である水泳が振るわず、その悪名を挽回すべく国が水泳人口増やす。子供の水難事故防止の為、皆泳を目指し、さらに指導の出来る教師を育成すべく、先の尾本町長が旗振りのもと学校に設置されたものである。 プールの水は火災時に大役をはたす。その昔久保。桜台地区で大火があった事を聞いている。最近では新丁の商店で火災があり水利に大変苦労をした。この案を可決に導びいたのは元消防団長であり、その時の議長はこの事をどう考えるか。 大多喜地区に防火水槽は足りるのか。 学童施設は上瀑小も有り総元小も有る。大多喜中学校もある。大多喜小にもそれ位のスペースはあると思ふ。大多喜保育園のあと地は？駐車は他にも候補地が有る。女子校も考えては？ 町長、議長は何を考えている？ 全員で現地踏査を望みます。それでもプールを壊すなら将来に禍根を残すであろう。教育課長は三密を回避と理由づけたが毎日の学童の通学バスを何と思ふ。思い付きの答弁そのものである。教育長はどう説明します。水泳指導の出来る教師を探し、プールを目的をもって利用して下さい。 子供がおぼれた時飛び込める親が居ない。 大変心寒い事です。
回答	大多喜小学校のプールは、本体底に亀裂が入り、貯水できない状況であり、大掛かりな工事が必要となるため、平成１６年からプール及び消

防水利として使用しておりません。その後、水泳の授業は、B&G 海洋センターのプールを使用して行っているところです。

なお、消防水利は大多喜小学校プールを中心に半径 200 m 内には防火水槽が 3 ヶ所及び消火栓が 4 ヶ所あり、その他にも水がある場所は必要に応じて自然水利として活用することとしており、消火活動に支障がないように努めております。

放課後児童クラブを大多喜小学校敷地内へ建設することについては、現在学童保育施設として旧上瀑小学校を使用していますが、以前から懸案となっている不審者への防犯対策、他にも、近年多発する自然災害に伴う被害の増大化などによる児童の安全確保、町、学校、放課後児童クラブとの緊密な連携を図ることが可能となるなど、当該学童保育施設を大多喜小学校の敷地内に移設することにより、保護者の方も安心して子どもを預け、働きに行けるものと考えています。

また、老朽化した更衣室やポンプ室などの付帯施設は解体しますが、プール槽は解体せずに土砂を搬入した上、建物の基礎として活用します。本来かかるプール槽の解体費用をかけずに済み、低コストで学童保育施設の建設を行うことが可能となります。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中で放課後児童クラブを運営しておりますが、学童保育施設の移設は感染リスクを可能な限り減らす対策としても有効であると考えております。

当該学童保育施設の建設は、子どもや保護者にとり大変有益なことと考えておりますので、ご理解ご協力いただけますようお願い申し上げます。